

附属若穂病院第16回健康まつりを開催しました

附属若穂病院で11月22日(土)、第16回健康まつりを開催しました。『地域と歩む ～人生100年 共にいきいきと～』をテーマに様々な企画を行い、多くの方にご来場いただきました。

医療講演



熊木俊成 院長が、『消化器系のがんについて』と題して講演しました。がん統計をもとに、患者数・死者数の多いがんを紹介。特に多いのは消化器系のがんで、がんを早期発見できれば9割治すことができるため、生活習慣の改善とともに定期検診の重要性を強調しました。

健康相談

熊木俊成 院長(外科)や田澤真奈美 医師(総合診療科)、看護師、薬剤師、管理栄養士による健康相談コーナー。健康に関するお悩みを気軽に質問できるということもあり、多くの来場者が訪れました。



ラウンジイベント

若穂幼稚園の園児の皆さんが『大きな栗の木の下で』など秋の童謡を元気いっぱいに歌ったほか、ハンドベルで『まっかな秋』を演奏しました。会場からの声に応え、アンコールとして『きらきらぼし』をハンドベルで演奏し、英語の歌詞で歌いました。

歌と演奏のお礼に、病院を代表して井原看護部長代行から園児の皆さんにお菓子をプレゼント。園からも手作りの2026年カレンダーとお正月飾りが贈られました。



ピアノエレクトーン Duo のお二人が息の合ったパフォーマンスを披露。ベルヴァンIIの皆さんによるオカリナ奏楽では、心が安らぐ美しいハーモニーが会場に響き渡りました。

その他のイベント



▲救急車の内部を見学

▶人形を使って心肺蘇生法に挑戦しました



▲福祉用具を展示。実際に使用してみる方の姿も



▲地元人気店が出店。院内では焼き菓子やパンの販売を行いました。屋外では焼き立てのピザや、ワッフルを使ったデザート販売し、行列ができていました



キッズビンゴ大会

恒例のキッズビンゴ大会には、今年も多くの親子連れが参加。華やかに飾り付けした会場にはバラエティに富んだ景品が用意され、ビンゴになった参加者はくじを引いて景品を受け取りました。狙っていた景品を見事に引き当てた参加者もあり、大変盛り上がりしました。



作品展示

綿内保育園と保科保育園の皆さんによる可愛らしい秋の絵を展示しました。また、JA グリーン長野女性部若穂総支部 若穂絵手紙教室の皆さんによる絵手紙展も行いました。



※絵手紙教室の作品は、今後も定期的に入れ替えて展示されます。

健康まつりは大盛況のうちに幕を閉じました。このようなイベントを通じて、地域の皆さんに病院の活動、医療情報を知っていただき、「地域と歩む」病院をめざしていききたいと考えています。ご来場ありがとうございました。

若穂病院に隣接する若穂果実流通センターでは「若穂地区JA祭・ふじ祭り」を同日開催。旬の果物や野菜を買い求める方や、出店を楽しむ方で大変にぎわっていました。

